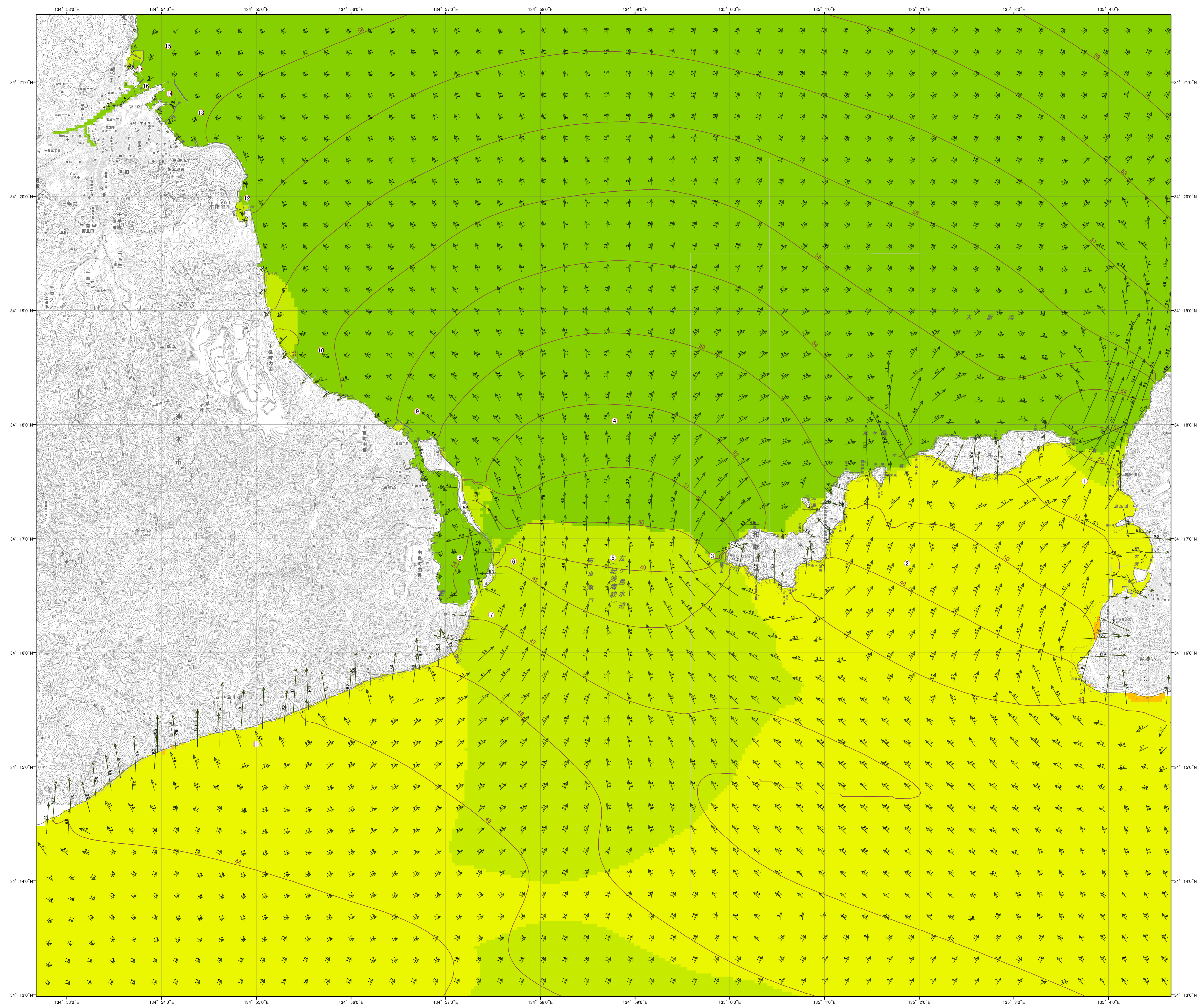


# 洲本港・友ヶ島水道 津波防災情報図（進入図）

計算条件：最高水面（零位）  
 陸起量：平均 -39cm (-49cm ~ -29cm)  
 Zo：0.95m ~ 1.05m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

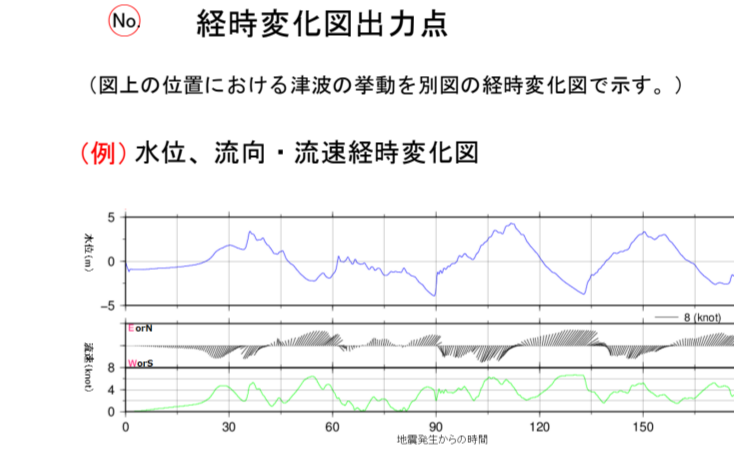


座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)



## 凡例

- 水位上昇(+10cm)となる等時線(分)
- 最大水位上昇
  - 5~最大5.8m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
- 経時変化図出力点

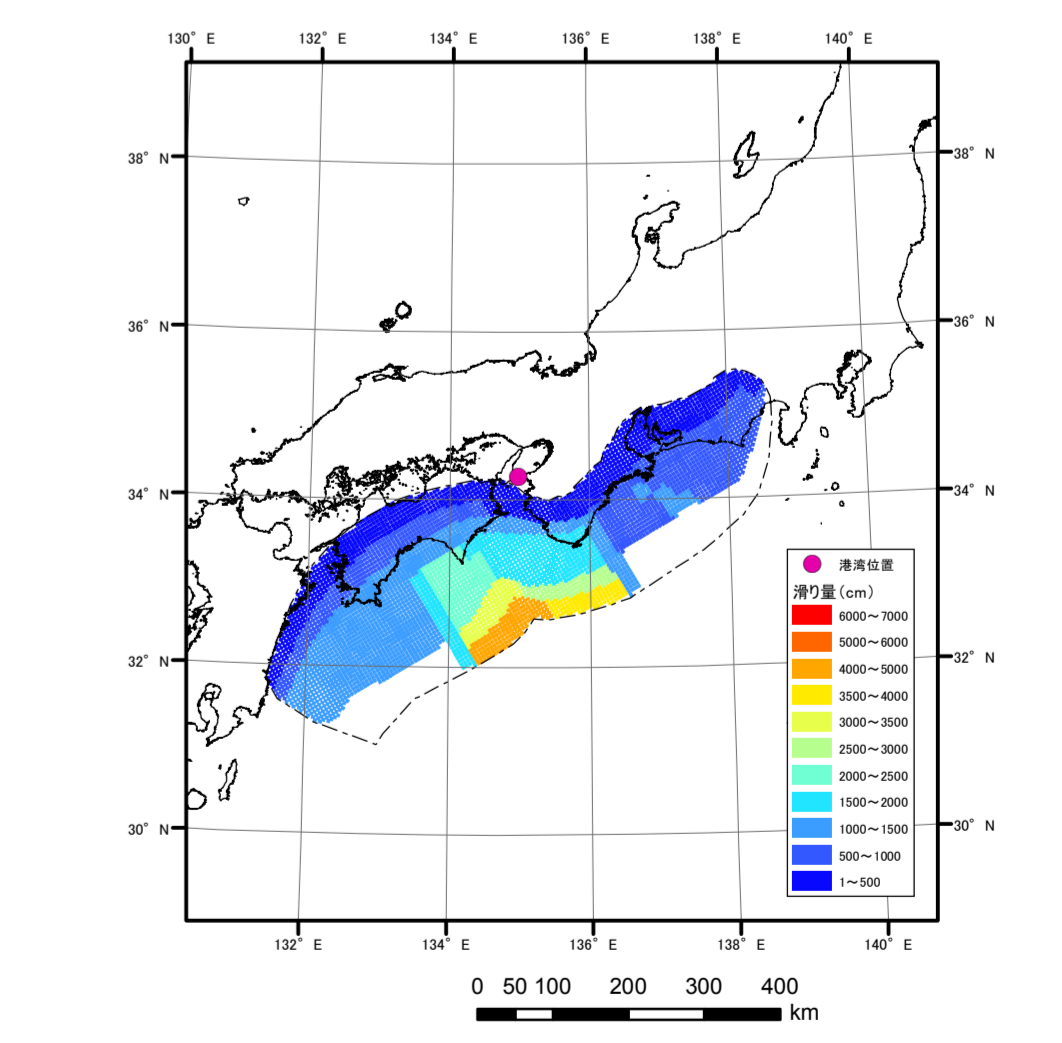


- 進入時最大流 [knot]
  - 6 knot
  - 4 knot
  - 2 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を見出し算出している。

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

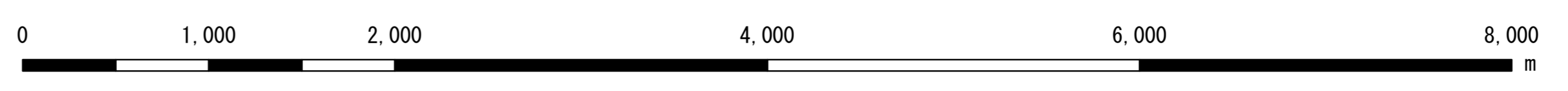
### 断面モデル



ケース③「紀伊半島沖～四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断面面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 × 10 <sup>21</sup>
平均すべり量 D (m)	10.9
モーメントマグニチュード Mw	9.1

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高) 及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)  
 ・海岸における3D電子地図 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 国地応地第98号 平成24年3月21日)



本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」（平成24年8月29日発表）により公表されたものである。  
 使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。